

**2018年度協定留学プログラム
派遣学生留学状況報告書**

非公開希望	項目	内容
	所 属	文学部 ドイツ語圏文化学科 3年（留学年次） 3年（帰国年次）
原則 公開	留学先	※大学名、学部、学科名を記入してください。 バイロイト大学、Kulturwissenschaftliche Fakultät、Geschichte(Kultur und Gesellschaft)
原則 公開	留学期間	※実際の留学期間（留学先での授業期間）を記入してください。 2018年 10月 15日 ~ 2019年 7月 27日 出国日 2018年 9月 25日 最終帰国日 2019年 8月 7日

留学の状況について、各項目について書いてください（合計1,500字以上）。これから海外留学をする学生にとって貴重な情報となりますので、なるべく詳細な記述をお願いします。

1. 留学全般について

(1) 留学当初の所感（第1・2回目報告書記載）について、自己評価や、留学前からの意識の変化等

語学面では、Goethe Zertifikat や TELC などを受けていないため、数値化してどれだけ伸びたかは分かりませんが、実感として「日本で同じ期間ドイツ語を勉強していても、こうは伸びなかつただろうな」と思っているので万々歳です。

夏学期には語学にも自信が少しついてきて友達も増え、いろいろ話をしたり体験をしたりすることで、自らの見分を広げることもできました。

(2) 留学前にもっと準備をしておけばよかったと感じること

とはいっても、夏学期がこんなに楽しかったなら、冬学期から語学をもっと頑張っていればよかったと思います。第1回目の報告書にありますように、冬学期には取っている授業数も少なかったのも、ドイツ語に触れる機会も少なかったです。

また、日本でもっとドイツ語能力を高めていられたら、とも思いました。ドイツ語に限らず語学のクラス分けは、毎学期初めのパソコンと口頭によるテストの結果によって振り分けられるので、前期で思うようなクラスに行かれなくても、そのクラスで残した成績に関わらず、自らの頑張り次第で後期はかなり上のクラスに行くことも可能です（私の場合は英語でそうなってしまいましたが…）。だからこそ、ドイツ語能力の向上を留学の目的の一つに掲げるなら、渡航前にドイツ語をしっかり勉強しておく（文法もコミュニケーションも）ことが大切だと感じました。

2. 留学先大学について

(1) 留学先大学の授業や教授等についての印象や感想

ドイツ語の授業には当たり前ですが先生以外にドイツ人はいないので、同じ留学生同士士気を高めつつ学ぶことができます。そこで友達も増えました。ドイツ語圏文化学科の学生なら理解していただけたと思うのですが、「コミュニケーション演習」のような授業です。

講義系はほとんどがドイツ語で行われます。ですが、いくつか英語で開講される講義もいくつかあるので、自分の興味のある分野の講義を調べてみてください。留学生向けの講義もある（内容は、ドイツ語の文献の読み方や、ドイツ語でのメールの書き方を学べるものや、ドイツ文学史などがあります。他にもあるかもしれないので、興味があれば各自調べてみてください。）ので、興味のある講義には第一回目はとりあえず足を運んでみたらいかかでしょうか。

(2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

学部によって主な建物が分かれているのは学習院大学と同じです。大学自体がとても広くて、庭園や温室、スポーツセンター等もあります。慣れないうちは迷うと思うので、オリエンテーション期間のキャンパスツアーに参加してもいいかもしれません。ドイツ語でも英語でも受けられます。

(3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

語学面：留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているのかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

先に述べていますように、語学の授業はレベル別で沢山開講されています。ですがいずれもクラス分けテストを受けていないと授業登録ができないのと、授業登録機関が始まると同時に申し込まないと、クラスの人数が上限に達してしまうので、お気を付けてください。クラス分けテストで結果を貰うことは、必ずそのクラスに登録できるを保障するものではありません。

私は利用しませんでした。が、学期が始まる前に、授業とは別でドイツ語を勉強することもできるようです（友人が利用していました）。費用や内容については存じ上げません。ご自分でお調べください。

生活面：生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。

学期が始まる頃には、留学生向けであるかどうかに関わらず、新たな人と知り合う場として様々なイベントが催されます。寮や大学内にポスターが張られていると思いますので、見てみるといいでしょう。生活面のサポートについては、タンデムパートナーを探すのが一番だと思います。Japanischer Stammtisch も月一で開かれているので、そこでドイツ人と知り合うといいでしょう。

資金面：現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。

(4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。

バイロイトは田舎すぎず都会でもない街なので、治安はとて面白いと思います。ですが、「アジア人狩り」の噂も流れていたもので、気を付けるに越したことはないと思います。とりわけ貴重品類の管理や、夜に遠くまで一人で出かけないことなどです。

(5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。

(6) 留学先での履修科目等

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、その科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

※成績証明書を添付してください。

①留学先での履修科目名 (単位数)	②本学で単位認定された科目名 (単位数)
Deutsch als Fremdsprache Grundkurs 4 (Niveau B1)	
International Communication in English Foundation(for Erasmus/International Students)	
English for Academic Purpose (Niveau B2+) (English for study abroad)	
Deutsch: Arbeit mit Texten AS1 (Niveau B2.1)	
Deutsch Brückenkurs Aufbaustufe 1(Niveau B2.1)	
Deutsch: Ausdrucksfähigkeit AS1(Niveau B2.1)	
Englisch: Aufbaukurs Allgemeine (AKA)	
Schreiben im akademischen Kontext	
Deutsch: Hörverstehen AS1 (Niveau B2.1)	

3. 宿舎について

(1) 種類

大学の寮 / アパート / ホームステイ / その他 ()

(2) 家賃

月額 (現地通貨) 約 192 ユーロ、(日本円) 約 23000 円

(3) 食事

食事付き (朝・昼・夕) / 自炊 / その他 ()

(4) 大学までの交通手段、所要時間

徒歩 / 自転車 / バス / 地下鉄 / その他 ()、計 分

(5) 感想、良かった点・悪かった点

私は Frankengutstrasse という大学の近くの学生寮 (WG) に住んでいました。同じ通りにある Birken はシャワーとトイレが WG でも個人の部屋にあるのですが、Frankengutstrasse は共有なので、それがまずつらかったです。それと WG は一生に住む人次第で楽しいかそうではないかが決まります。私は一年間本当に最悪でした。そこに不安を感じる方は、一人暮らしの学生寮もあるので、お調べください。

4. 費用について

(1) 学 費

(現地通貨) 約 、(日本円) 約 円 ※協定留学なので、学習院の学費を払いました。

(2) 渡航方法と金額

飛行機 / 船舶 / その他 ()、(日本円) 往復約 20 万円

(3) 生活費

(現地通貨) 月額・年額 約 800 ユーロ、(日本円) 約 10 万円

※宿舍費を含めた金額を記入してください。

(4) 費用の持参方法

インターナショナルキャッシュカード / クレジットカード / 国際ブランドプリペイドカード / 現金 / その他 ()

⇒その方法についての感想、良かった点・悪かった点

もともとドイツで銀行口座が作れ次第、日本から送金をするつもりだったのですが、思いがけず口座を開設できるのが遅くなってしまったので、そのときにデビットカードはカード払いの時も、現金を下ろしたい時も、とても便利でした。

(5) 「学習院大学海外留学奨学金」を受給した場合、その主な支出内容と金額の内訳

5. 保険について

(1) 保険会社名

TK (Techniker Krankenkasse)

(2) 保険料

約 月 11000 円

(3) 加入した保険の種類、内容

ドイツの国民健康保険 (ドイツでの医療費無料)

(4) 感想、良かった点・悪かった点

これは、ドイツでビザを取得するのに必ず入らなければならない保険です。TKに限らずいろいろな会社がありますが、大学内にも街中にもオフィスがあるのが TK なので、私はそこにしました。

6. 荷物について

(1) 荷物の送付方法

手荷物／船便／SAL 便／航空便／海外宅配便／その他（ ）

(2) 持って行って良かったと思う物

インスタント食品（みそ汁やカップ麺等）、日本の調味料（パイロイト程度の町にそう多くは売っていません）、常備薬や爪切り、絆創膏などの衛生用品（日本のものがやはり体に合っていますし、質がいいです）

(3) 持って行く必要が無かったと思う物

(4) 持って行けば良かったと思う物

持っていけばよかったものというか、もっとお金を貯めてから行けばよかったと思います。旅行するのにお金をたくさん使っていたのもあるのですが、もっと旅行したかったと思っていますので…

7. 平日および週末の平均的な過ごし方

(1) 平日

大学か家かスーパーに買い物、これ以外にありません。放課後週1か2くらいで友達とカフェに行ったり、飲んだりしていました。

(2) 週末

週末含め、まとまった休みのある時は旅行をしていました。他にも図書館で勉強したり、ひとりでカフェでまどろんだり、友達とちょっと出かけたり、その日の気分に合わせて生きていました。

8. 後輩へのアドバイス等

手続き系はとにかく大変で時間もかかるので、事前に必要な書類やどこで何の手続きをすべきか、その営業時間や、予約は必要か、予約方法は電話かメールかなど、しっかり調べておいてください。

言葉もよくわからないうちにこの難題が待ち受けているので、心が折れそうになると思いますが、私はそれ込みでいい経験だと思っているので、皆さんも頑張ってください。

9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。